



平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年9月5日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東
 コード番号 9692 URL http://www.cec-ltd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 富士夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 筒井 伸二 TEL 046-252-4111
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月8日 配当支払開始予定日 平成26年9月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト等向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績（平成26年2月1日～平成26年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	20,746	0.7	1,386	54.7	1,356	54.8	831	80.7
26年1月期第2四半期	20,611	5.7	895	26.7	875	29.1	460	△10.1

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 1,066百万円 (88.4%) 26年1月期第2四半期 565百万円 (28.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	47.68	47.53
26年1月期第2四半期	26.40	26.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第2四半期	34,420	21,858	61.9	1,221.62
26年1月期	32,967	20,955	62.0	1,172.83

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 21,309百万円 26年1月期 20,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年1月期	—	10.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年1月期の連結業績予想（平成26年2月1日～平成27年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	2.6	2,500	27.8	2,450	26.9	1,450	29.4	83.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年1月期2Q	18,800,000株	26年1月期	18,800,000株
② 期末自己株式数	27年1月期2Q	1,356,250株	26年1月期	1,370,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年1月期2Q	17,437,577株	26年1月期2Q	17,429,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年2月1日～平成26年7月31日)におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要とその反動減がみられたものの、政府の各種政策を背景に企業収益、雇用情勢の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移いたしました。

情報サービス産業においては、景気回復を背景に企業のIT投資マインドに改善がみられました。とりわけ、市場ニーズは売上拡大や競争優位性の確保につながる経営戦略面の課題に対して高まっており、さらなる顧客目線でのシステム提案・サービス提供が求められております。

このような情勢のなか、当社グループは自社独自の製品・サービス創出による事業領域の拡大、アライアンス推進による営業力・市場競争力の強化、各事業セグメント間の連携強化によるシナジー効果の最大化に努めるとともに、新規顧客の開拓および既存顧客の深耕に注力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、携帯デバイス検証の商談減少や前期の大口仕入販売の反動減等がみられたものの、上記諸施策に取り組んだことで、売上高は207億4千6百万円、前年同期比1億3千5百万円(0.7%)の増となりました。利益面については、付加価値の高い自社開発製品の販売ならびに生産性向上等の収益改善活動を推し進めたことで粗利率が改善し、営業利益は13億8千6百万円、前年同期比4億9千万円(54.7%)の増、経常利益は13億5千6百万円、前年同期比4億8千万円(54.8%)の増、四半期純利益は8億3千1百万円、前年同期比3億7千1百万円(80.7%)の増となりました。

(品質検証サービス)

品質検証サービス分野におきましては、スマートフォン市場の環境変化に伴う携帯デバイス検証の商談減少により、売上高は15億8千6百万円、前年同期比2億2千5百万円(12.4%)の減となりましたが、情報システム・医療機器・スマートグリッドなど新規検証分野の商談増加が売上減少幅の縮小に寄与しました。利益面につきましては、テスト自動化による生産効率の向上に努めたことなどで、営業利益は2億3千2百万円、前年同期比1億2千1百万円の増となりました。

(IT基盤サービス)

IT基盤サービス分野におきましては、インフラ構築サービスにおいて既存顧客の商談が拡大したものの、データセンターサービスにおけるアウトソーシング契約満了等の影響により、売上高は53億5千3百万円、前年同期比3千2百万円(0.6%)の減となりました。利益面につきましては、運用ガイドライン導入による作業標準化および経費削減に努めたことで、営業利益は7億8千万円、前年同期比7千6百万円の増となりました。

(ビジネス支援サービス)

ビジネス支援サービス分野におきましては、自社開発製品であるドキュメントソリューション「SmartSESAME® SecurePrint!」(スマートセサミ セキュアプリント)シリーズの販促活動強化、ならびにデジタルエンジニアリングに関するサービス拡充に努めてまいりました。業績面につきましては、前期のハードウェア切替需要に伴う大口仕入販売の反動減がみられたものの、上記自社開発製品の販売が好調に推移したことなどで、売上高は24億8千3百万円、前年同期比3千9百万円(1.6%)の増、営業利益は1億6千万円、前年同期比1億1千4百万円の増となりました。

(システム構築サービス)

システム構築サービス分野におきましては、プロジェクト監視強化の徹底による品質向上に努めるとともに、ニアショアなど開発分業化推進による高生産性の実現に取り組んでまいりました。業績面につきましては、既存顧客との取引拡大および新規顧客の獲得により、売上高は113億2千2百万円、前年同期比3億5千3百万円(3.2%)の増、営業利益は18億8千6百万円、前年同期比3億3千4百万円の増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産の残高は、344億2千万円となり、前連結会計年度末と比べ14億5千2百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が15億4千5百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債の残高は、125億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億4千9百万円の増加となりました。これは買掛金が4億3千1百万円増加、繰延税金負債（固定負債）が9千2百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産の残高は、218億5千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ9億2百万円の増加となりました。これは、四半期純利益を8億3千1百万円計上したこと、その他有価証券評価差額金が2億1千5百万円増加、剰余金の配当により1億7千4百万円減少したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ15億4千2百万円増加し57億7千6百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益を13億3千2百万円計上するとともに、減価償却費7億1千3百万円、仕入債務の増減額4億3千2百万円などにより25億4百万円（前年同期比11億3千8百万円の収入増）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、固定資産の取得による支出6億1千6百万円などにより5億9千4百万円（前年同期比2億3千4百万円の支出増）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は、配当金の支払額1億7千4百万円、リース債務の返済による支出1億6千3百万円などにより3億5千8百万円（前年同期比1億7千6百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の連結業績予想につきましては、平成26年3月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,865,896	5,411,464
受取手形及び売掛金	8,120,189	7,843,840
有価証券	685,030	705,400
商品	103,130	63,199
仕掛品	481,722	542,526
その他	1,006,734	1,279,294
貸倒引当金	△24,913	△17,811
流動資産合計	14,237,790	15,827,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,325,035	8,099,397
土地	2,512,896	2,512,896
リース資産(純額)	3,880,960	3,731,326
その他(純額)	1,002,960	1,058,034
有形固定資産合計	15,721,853	15,401,654
無形固定資産		
のれん	12,806	8,602
その他	423,556	338,886
無形固定資産合計	436,363	347,489
投資その他の資産		
その他	2,588,242	2,857,633
貸倒引当金	△16,359	△14,663
投資その他の資産合計	2,571,882	2,842,970
固定資産合計	18,730,099	18,592,113
資産合計	32,967,890	34,420,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,358,644	1,790,022
短期借入金	367,500	363,600
未払法人税等	530,669	551,812
賞与引当金	404,877	492,769
受注損失引当金	10,620	7,135
その他	2,319,723	2,605,225
流動負債合計	4,992,034	5,810,565
固定負債		
長期借入金	136,200	122,600
長期末払金	536,734	529,554
リース債務	3,633,067	3,466,599
繰延税金負債	278,232	370,933
退職給付引当金	1,330,939	1,148,308
役員退職慰労引当金	6,592	6,169
資産除去債務	1,098,456	1,106,701
固定負債合計	7,020,222	6,750,867
負債合計	12,012,257	12,561,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,415,030	6,415,030
利益剰余金	9,088,140	9,734,202
自己株式	△1,748,969	△1,730,501
株主資本合計	20,340,200	21,004,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,020	289,507
為替換算調整勘定	27,400	15,465
その他の包括利益累計額合計	101,420	304,972
新株予約権	21,138	27,270
少数株主持分	492,872	521,620
純資産合計	20,955,632	21,858,595
負債純資産合計	32,967,890	34,420,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
売上高	20,611,325	20,746,494
売上原価	16,661,886	16,417,878
売上総利益	3,949,439	4,328,615
販売費及び一般管理費	3,053,725	2,942,569
営業利益	895,714	1,386,046
営業外収益		
受取利息	409	714
受取配当金	3,639	9,283
有価証券評価益	51,070	20,370
その他	66,406	44,313
営業外収益合計	121,525	74,681
営業外費用		
支払利息	130,652	103,050
その他	10,730	1,448
営業外費用合計	141,382	104,499
経常利益	875,856	1,356,228
特別利益		
その他	416	—
特別利益合計	416	—
特別損失		
固定資産売却損	—	208
固定資産除却損	15,745	13,745
関係会社出資金売却損	—	4,083
厚生年金基金脱退損失	—	5,649
割増退職金	89,969	—
その他	20,723	—
特別損失合計	126,439	23,687
税金等調整前四半期純利益	749,832	1,332,541
法人税、住民税及び事業税	175,757	489,235
法人税等調整額	72,151	△19,859
法人税等合計	247,908	469,375
少数株主損益調整前四半期純利益	501,924	863,165
少数株主利益	41,827	31,660
四半期純利益	460,096	831,505

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	501,924	863,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,732	215,550
為替換算調整勘定	13,358	△6,324
持分法適用会社に対する持分相当額	5,916	△6,061
その他の包括利益合計	64,007	203,164
四半期包括利益	565,931	1,066,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	522,994	1,035,057
少数株主に係る四半期包括利益	42,936	31,273

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	749,832	1,332,541
減価償却費	706,120	713,887
のれん償却額	12,177	4,203
賞与引当金の増減額 (△は減少)	52,573	88,636
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△48,394	△3,484
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△186,086	△182,630
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	108	△422
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38,146	△8,798
受取利息及び受取配当金	△4,049	△9,998
支払利息	130,652	103,050
持分法による投資損益 (△は益)	△12,421	△1,917
固定資産売却損益 (△は益)	△416	208
固定資産除却損	15,745	13,745
有価証券評価損益 (△は益)	△51,070	△20,370
関係会社出資金売却損益 (△は益)	—	4,083
厚生年金基金脱退損失	—	5,649
前渡金の増減額 (△は増加)	—	△118
前受金の増減額 (△は減少)	39,139	327,429
売上債権の増減額 (△は増加)	133,598	273,668
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△70,460	△23,207
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△71,540	△260,514
仕入債務の増減額 (△は減少)	344,512	432,480
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△50,451	120,850
未払金の増減額 (△は減少)	△8,542	7,313
未払費用の増減額 (△は減少)	△34,951	79,203
長期未払金の増減額 (△は減少)	△26,130	△7,180
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	13,311	62,688
その他	31,363	20,607
小計	1,626,476	3,071,607
利息及び配当金の受取額	4,049	9,985
利息の支払額	△130,652	△103,050
法人税等の支払額	△133,386	△467,939
厚生年金基金脱退の支払額	—	△5,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,366,486	2,504,952

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,888	△10,002
定期預金の払戻による収入	13,822	10,104
固定資産の取得による支出	△359,665	△616,514
固定資産の売却による収入	721	376
資産除去債務の履行による支出	—	△9,688
投資有価証券の取得による支出	△298	△314
関係会社出資金の売却による収入	—	29,853
敷金及び保証金の差入による支出	△46,317	△2,579
敷金及び保証金の回収による収入	46,530	2,916
その他	2,266	1,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△359,827	△594,491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△189,600	△17,500
自己株式の取得による支出	—	△33
配当金の支払額	△174,281	△174,895
少数株主への配当金の支払額	△2,525	△2,525
リース債務の返済による支出	△168,395	△163,671
ストックオプションの行使による収入	—	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△534,802	△358,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,220	△9,792
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	483,076	1,542,058
現金及び現金同等物の期首残高	5,247,022	4,234,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,730,098	5,776,847

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計
	品質検証 サービス	I T基盤 サービス	ビジネス 支援サービス	システム 構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,812,118	5,386,162	2,443,781	10,969,263	20,611,325	—	20,611,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,132	95,209	40,488	69,551	224,381	△224,381	—
計	1,831,250	5,481,371	2,484,269	11,038,814	20,835,706	△224,381	20,611,325
セグメント利益	111,061	703,368	45,983	1,551,545	2,411,959	△1,516,245	895,714

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,516,245千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計
	品質検証 サービス	I T基盤 サービス	ビジネス 支援サービス	システム 構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,586,585	5,353,807	2,483,190	11,322,910	20,746,494	—	20,746,494
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	196,982	78,221	79,567	354,771	△354,771	—
計	1,586,585	5,550,789	2,561,412	11,402,478	21,101,265	△354,771	20,746,494
セグメント利益	232,555	780,332	160,793	1,886,155	3,059,837	△1,673,791	1,386,046

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,673,791千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。